

平成 21 年 5 月 18 日

平成20年度活動概要（案）



高知県危機管理部 消防政策課
高知県消防防災航空隊

1 運航概要	1
(1) 平成20年度飛行時間内訳	1
(2) 月ごとの出動件数	1
(3) 要請機関別の出動件数状況	2
(4) 発足からの出動件数推移	2
(5) 発足からの救助人数と救急搬送人数の推移	3
(6) 夜間運航	4
2 救助活動	5
3 火災防衛活動	7
4 災害応急活動	8
5 救急活動	9
(2) 救急活動の内容別件数	9
(3) 県外へ（県外から）の救急搬送	10
(4) 搬送もと及び搬送先医療機関別の搬送	11
(5) おもな離着陸場所までの所要時間	13
(6) 離着陸場別の搬送人数	13
(7) 勤務時間外の離陸による搬送状況	14
(8) 高知医療センターに関する救急活動	16
6 防災訓練等	17
(1) 海上保安庁巡視船への着艦訓練	17
(2) 着衣泳研究会と水難救助のための調査訓練	18
(3) 住民の力で設置した離着陸場での救急訓練	18
(4) 登山者や林業従事者の事故対応訓練	19
7 一般行政	19

1 運航概要

(1) 平成20年度飛行時間内訳

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災防御	0:25		4:45		5:35	1:00	0:40	0:15	0:23	3:11			16:14
救急活動	5:10		7:42	22:21	14:18	21:02	23:14	18:59	18:43	6:40	15:05	25:05	178:19
救助活動	1:35		1:14	2:16	2:19	8:39	0:52	0:54	3:24	1:30	0:26	2:22	25:31
災害応急										0:57			0:57
防災訓練				2:05	1:40	1:50	1:00	2:26			0:40		9:41
一般行政							3:00	1:00					4:00
航空調査								0:50	1:15	1:10			3:15
合同訓練			1:55		3:25			0:40					6:00
乗組員訓練	4:55		12:32	8:05	12:55	6:58	8:15	8:20	9:30	6:20	4:35	14:08	96:33
操縦士訓練			0:35	3:35	3:45	2:55	0:55	1:05			1:40		14:30
点検	2:55	3:20	0:35										7:15
飛行時間	12:05		28:43	38:22	43:57	42:24	37:56	34:29	33:15	19:48	22:26	41:35	362:15
点検日数	22	31	6	1	2	2	2.5	1	2.5	6	0	1	77



(2) 月ごとの出動件数

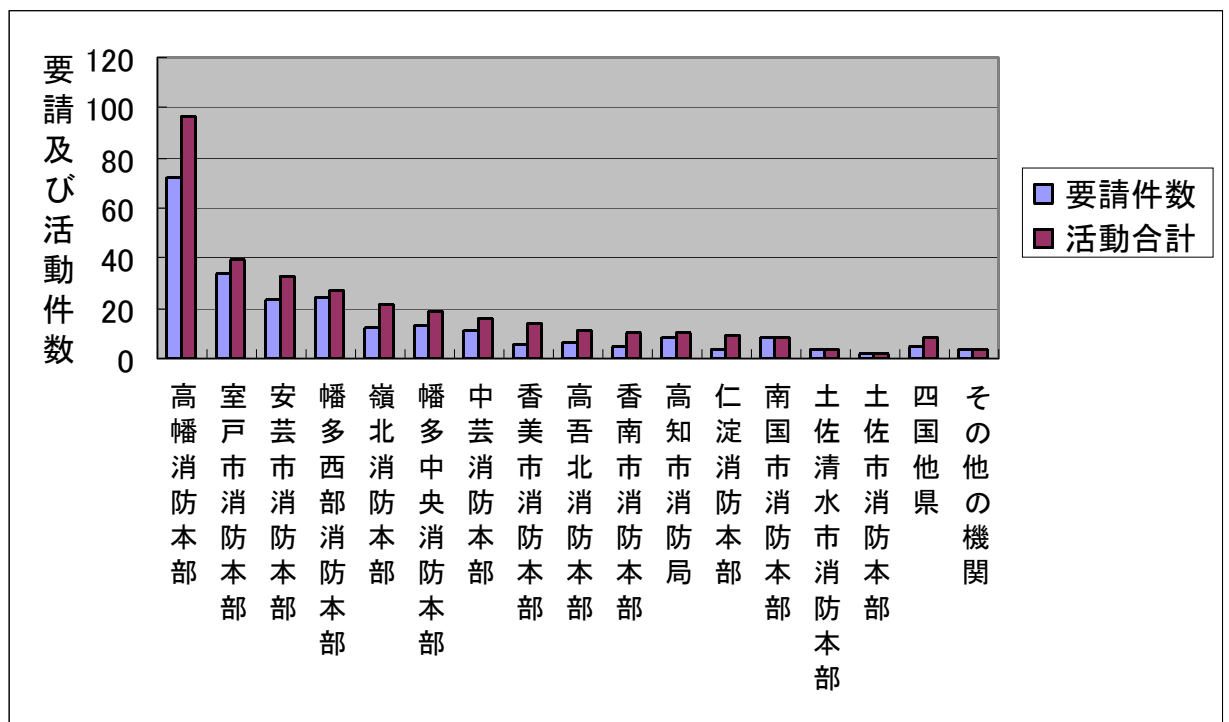
業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災防御	1		3		1	1	2	1	1	5			15
救急活動	4		11	33	24	30	33	31	26	12	30	43	277
救助活動	1		2	7	4	10	2	2	4	3	1	4	40
災害応急										1			1
合計	6	0	16	40	29	41	37	34	31	21	31	47	333
要請事案数	6		14	25	19	30	28	24	24	15	21	34	240

要請件数と出動件数について

消防庁への報告件数は「救助要請」1件であっても活動が、医師が同行した場合は「医師搬送」+「救助活動」+「救急搬送」と3件となる場合がある。

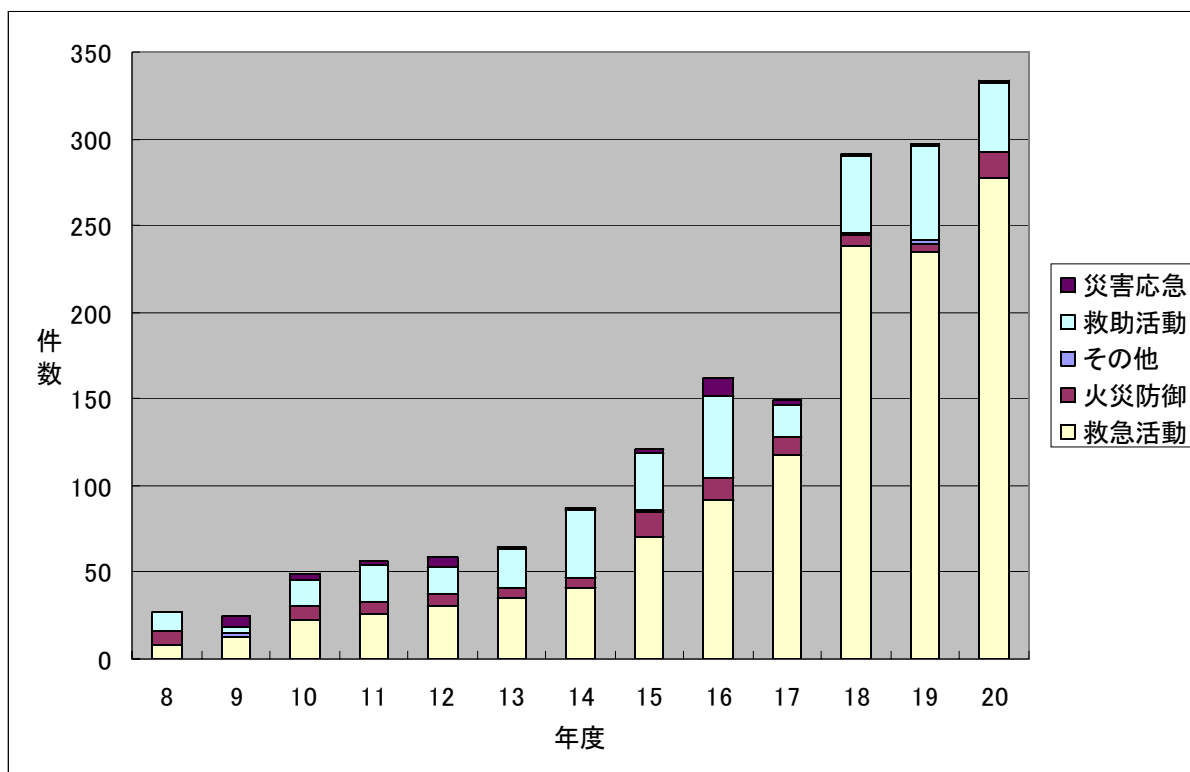
(3) 要請機関別の出動件数状況

関係機関	要請件数	活動合計	火災防御	救急活動	救助活動	災害応急
高幡消防本部	72	97	2	85	10	
室戸市消防本部	34	39	1	35	3	
安芸市消防本部	23	33	2	27	4	
幡多西部消防本部	24	27		26	1	
嶺北消防本部	12	22	1	20	1	
幡多中央消防本部	13	19		15	4	
中芸消防本部	11	16	1	15		
香美市消防本部	6	14		11	3	
高吾北消防本部	7	11		10	1	
香南市消防本部	5	10		6	4	
高知市消防局	8	10	4	5	1	
仁淀消防本部	4	9		6	3	
南国市消防本部	8	8	2	6		
土佐清水市消防本部	4	4		4		
土佐市消防本部	2	2		1	1	
四国他県	5	8	1	5	2	
高知県	1	1				1
その他の機関	3	3	1		2	
合計	242	333	15	277	40	1

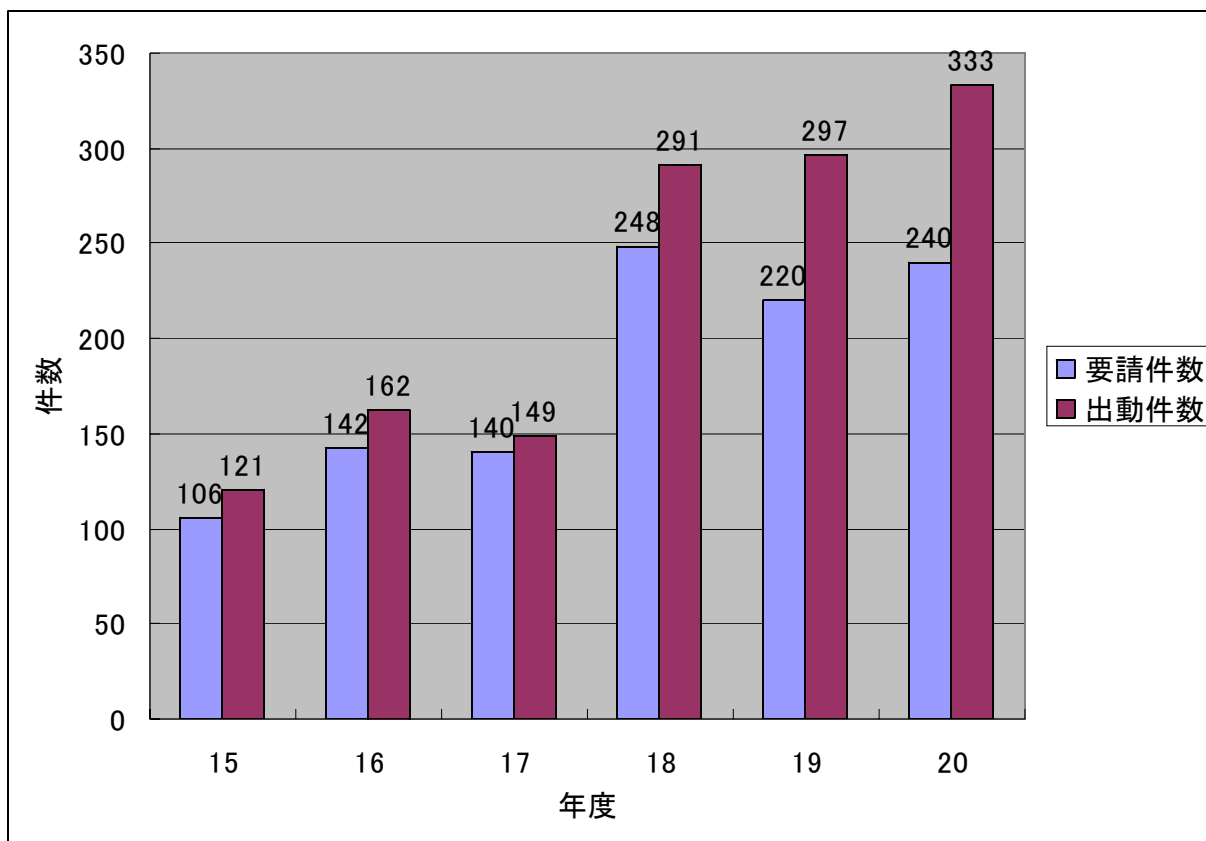


(4) 発足からの出動件数推移

ア 出動件数と活動内容の推移



イ 要請（事案）件数と出動（活動）件数の推移



(5) 発足からの救助人数と救急搬送人数の推移

内容/年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
救急活動	8	13	22	26	30	35	40	70	92	115	217	188	215	1071
救助活動			32	12	10	24	30	19	194	11	25	37	32	426

(6) 夜間運航

	飛行内容	要請時刻	日没時刻	離陸時刻	着陸時刻	夜間飛行	着陸地	搬送人数
	1 訓練		18:25	18:25	19:50	1:00	室戸市高岡離着陸場	—
	2 転院搬送	18:45	19:19	19:18	20:23	1:04	土佐清水ヘリポート	1
※	3 一般負傷	21:33	18:53	21:45	22:22	0:37	須崎離着陸場	2
	4 転院搬送	18:30	18:48	18:35	19:35	0:47	幡多けんみん病院	1
	5 転院搬送	01:18	18:43	1:55	3:05	1:10	土佐清水ヘリポート	1
	6 転院搬送	17:10	17:13	17:12	17:47	0:34	安芸市土居	1
	7 転院搬送	17:53	18:30	17:57	19:02	0:32	幡多けんみん病院	1
	8 一般負傷	17:59	18:19	18:28	18:55	0:27	禰原ヘリポート	1
	9 転院搬送	17:42	18:00	17:50	18:25	0:25	須崎離着陸場	1
	10 一般負傷	17:35	17:44	17:39	18:11	0:27	土佐市竜の浜	1
	11 転院搬送	17:05	17:34	17:12	18:22	0:48	幡多けんみん病院	1
	12 転院搬送	16:45	17:15	16:45	17:50	0:35	四万十町金上野	1
	13 転院搬送	16:57	17:06	17:00	17:52	0:46	室戸消防署	1
	14 林野	17:06	17:15	17:15	18:05	0:50	--	—
	15 水難	20:10	17:15	20:50	21:40	0:50	--	—
	16 転院搬送	18:10	18:15	18:41	19:31	0:50	須崎離着陸場	1
夜間飛行時間合計						11:42	搬送人数合計	14

※ 夜間飛行時間(日没後の飛行時間)が20分を越える飛行を抽出

※ 3は多数負傷者が発生し21:12に連絡を受け、出勤して要請を待った。

夜間運航は「夜間呼び出し」による出勤の他、出勤中に日没をすぎたものを含んでいる。

夜間出勤は大規模災害等の際が夜間に発生した場合等に迅速に活動できるようにするために「訓練」を兼ねて対応可能な場合に実施している。



2 救助活動

救助活動は対象となった要救助者の予後に重点を置いて実施している。そのため「救助」「救急」が一体となった活動を消防・医療機関と連携して実施した。高知医療センターの医師が救助活動に同行し、事故現場等に医師が降下することで「救急活動：医師搬送」と組み合わせた活動が増え「要救助者」にとって最良の救助活動が実施できた。

救助内容	出動件数	救助人数	生存	医師の同乗状況		
				降下	機内待機	同乗無し
火災	1					1
山岳	15	16	15	9	1	5
水難	10	3	1			10
その他	14	13	8	7		7
合計	40	32	24	16	1	23

	内容	医師	救助人数	状態	救助概要
1	水難		1		洋上に人が浮いている情報
2	水難				誤報
3	水難				河川でおぼれた青年の捜索
4	水難				行方不明者の捜索・発見
5	水難		1	生存	台風による高波にさらわれたサーファー救助
6	水難				行方不明漁船の捜索
7	水難				行方不明漁船の捜索
8	水難				夜間洋上捜索 虚報
9	水難		1		河川に浮いている人の救助
10	水難				行方不明者の捜索
11	山岳	降下	1	生存	山中で草刈り中に足の指を切断
12	山岳	降下	1	生存	天狗高原をトレッキング中に意識喪失
13	山岳	降下	1	生存	蜂刺傷
14	山岳	降下	1	生存	山中でチェーンソーにより足を切創
15	山岳	降下	1	生存	山中で熱中症
16	山岳	降下	2	生存	山中で蜂刺傷
17	山岳	降下	1	生存	山中で草刈り機により切創・救急隊・医師によりCPAから蘇生・回復
18	山岳	降下	1		山間部の滑落事故
19	山岳	降下	1	生存	伐採中の事故
20	山岳	機内待機	1	生存	伐採現場で蜂刺傷
21	山岳		1	生存	登山道からの転落
22	山岳		2	生存	山頂で蜂刺傷
23	山岳				林道工事現場事故 悪天候で引き返し
24	山岳		1	生存	登山道からの滑落
25	山岳		1	生存	山中で急病
26	火災				漁船火災
27	その他	降下	1		谷川への車両転落
28	その他	降下	1	生存	交通事故によりライダーが10m下の谷川に転落

29	その他	降下	1	生存	山中での蜂刺傷
30	その他	降下	2	生存	交通事故
31	その他	降下	2	生存	山間部で車両が急斜面を転落
32	その他	降下	1	生存	山間部の工事現場で事故
33	その他	降下	1		農耕機の下敷き
34	その他				行方不明者の捜索
35	その他		1		河川に転落車両内の検索・運転者発見・搬送
36	その他				行方不明者の捜索
37	その他		1	生存	山の中腹で車両事故
38	その他				山間部で交通事故
39	その他		1		行方不明者捜索
40	その他		1		着陸不能な場所から収容
合 計			32人	24人	

ア 水難

119 通報を受けた消防署からの迅速な要請により、台風の高波で沖合に流された青年を無事救助することができた。



写真は洋上での救助訓練

ウ 山間部や山中での救助

多くの重傷事故事案に対して「ヘリコプターによる吊り上げ救助から医療機関へ搬送」といった活動から「ヘリコプターによる医師の搬送→医師による処置後に救助→医療行為を継続しながら医療機関へ搬送」といった消防防災ヘリコプターならではの能力(ホイスト・広い機内スペース・消防との連携)と医療機関の連携による効果が十分に発揮できた。



救助現場に医師が降下した例

林業現場での重傷事故に地上隊と同時出動したヘリコプターに同乗した医師が隊員とともにホイストにより降下して蘇生を実施中の救急隊員と連携し処置を行い蘇生後に医療機関に搬送し、負傷者は無事退院することができた。

(写真 下部中央に隊員と医師が降下)

3 火災防衛活動

件数	月	日	内容	発生場所	消火回数	
1	4	5	林野	須崎市	0	
2	6	16	その他	須崎湾	33	船舶火災
3		18	林野	本山町	0	
4		24	その他	須崎湾	10	船舶火災
5	8	25	林野	今治市	72	広域航空消防応援
6	9	27	その他	南国市沖	0	船舶火災
7	10	12	建物	安芸市	0	
8		13	林野	高知市	0	
9	11	23	林野	高知市	0	
10	12	25	林野	安芸市	0	
11	1	2	林野	高知市	6	
12		3	林野	高知市	0	
13		4	林野	安田町	0	
14		11	林野	南国市稲生	0	
15		16	林野	室戸市	21	
消火回数の合計					142	



今治市の林野火災（写真は延焼区域の一部）

上：高知市火災 下：船舶火災

林野火災は地上隊では到着に時間がかかる場所や、空中消火が有効と思われる場合は「119」通報時に航空隊に要請をしてもらうことで大規模な火災になることを防止するようにしている。

須崎湾で船舶が火災2件発生し、海上保安庁高知保安部船舶が到着するまでの間、消火活動を実施した。

4 災害応急活動

1月4日 津波警報に伴い海岸線の警戒飛行を実施

11時18分～12時15分の間、警戒飛行を実施した。

5 救急活動

(1) 救急活動の特徴

平成17年から災害拠点病院である「高知医療センター」と連携して「ドクターヘリ」的な活動を実施している。「高知医療センター」に傷病者を搬送する場合は、高知医療センターの医師が出動時に搭乗して救急活動を実施している。

ヘリコプターと高知医療センターは「医療無線」により連絡が取れ、航空隊と医師は電話で直接連絡を取れるようになっている。

また、電話による参集であるが可能な限り夜間の搬送にも対応している。



傷病者を医師の管理の下に医療機関へ迅速に搬送するために消防機関及び医療機関と連携した活動を実施した。



左 着陸できない場所で降下・揚収するための
ホイスト装置

上 負傷者の元に降下を待つ医師

(2) 救急活動の内容別件数

内 容		18年度		19年度		20年度	
		件数	搬送人数	件数	搬送人数	件数	搬送人数
医師搬送		19		52		68	
	救急へ	19		41		51	
	救助へ			11		17	
一般負傷		15	14	13	13	25	29
運動競技		1	1				
加害				1	1		
火災		1	1	1	3		
急病		14	14	17	16	20	20
交通		5	6	16	17	21	23
水難		6	7	2	2	4	4
自損						1	1
転院搬送	受診から	105	106	67	68	75	75
	入院から	62	62	50	51	54	54
労働災害		8	6	16	17	11	11
引き返し		2					
合計件数		238	217	235	188	277	215



救助活動であっても負傷者の収容には可能な限り、着陸による収容を選択したが、高知県は急峻な山地が多く、そこで就業する方々の救命には「ホバリング」と「ホイスト装置による降下・揚収」が欠かせない。医師の協力を得て不利な場所で働く方々の救命に大きな効果を上げることができた。

(3) 県外へ（県外から）の救急搬送

	搬送もと	搬送先	搬送人数
1	海部病院	徳島赤十字病院	1
2	現場（救助から）	愛媛大学附属病院	1
3	高知医療センター	岡山大学附属病院	1
4		川崎医科大学附属病院	1
5		兵庫医科大学附属病院	1
6	高知大学医学部附属病院	岡山大学附属病院	1
7		岡山大学附属病院	1
8		大阪大学医学部附属病院	1
9		奈良県立医科大学附属病院	1
10		名古屋大学医学部附属病院	1
11	徳島県立中央病院	大阪循環器センター	1
12	幡多けんみん病院	香川県立中央病院	1
13		兵庫県立こども病院	1
搬送人数			13



徳島赤十字病院



川崎医科大学附属病院



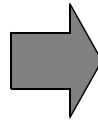
岡山大学附属病院



名古屋大学医学部附属病院

(4) 搬送もと及び搬送先医療機関別の搬送

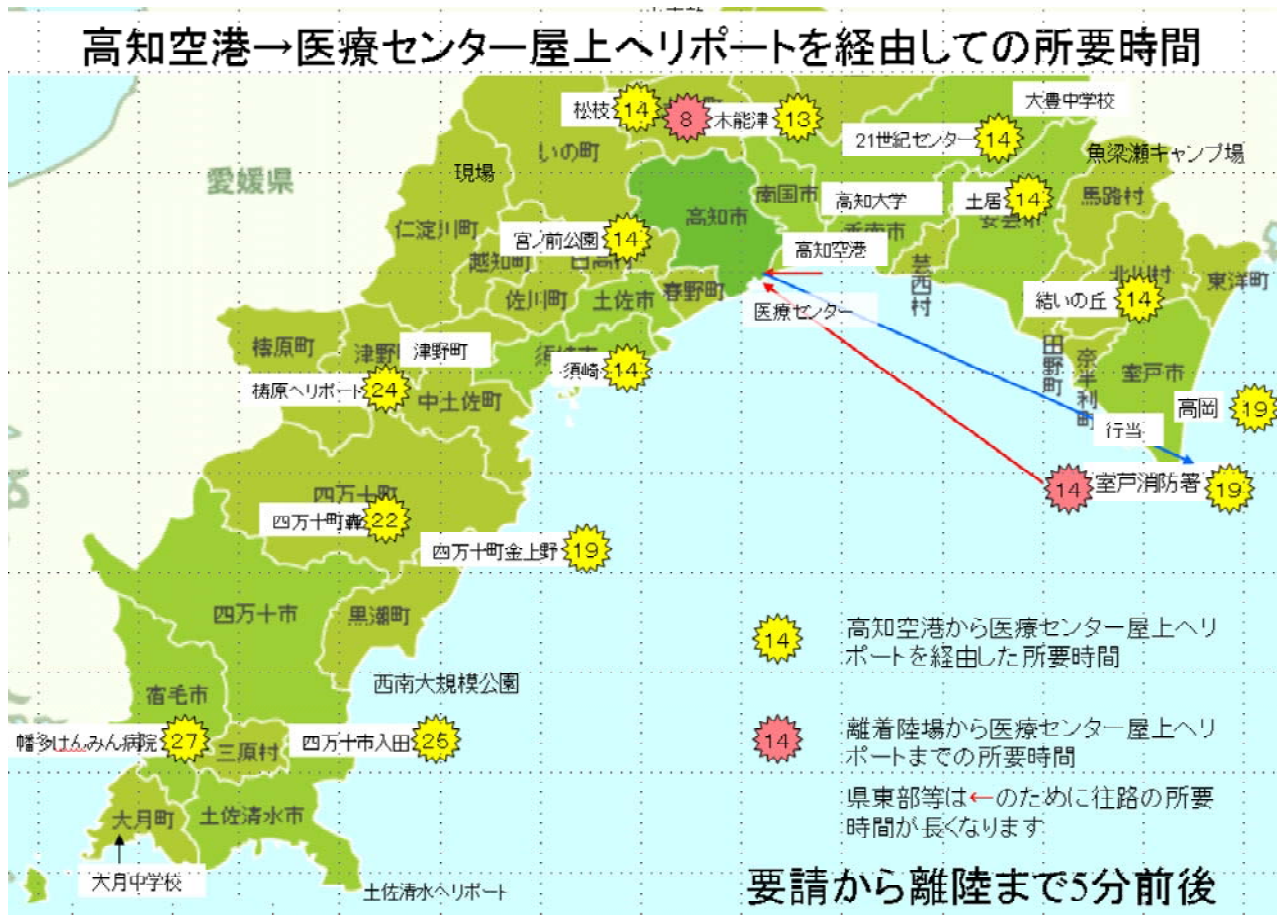
搬送もと	搬送人数
現場	86
幡多けんみん病院	21
室戸病院	17
栲原病院	12
くろしお病院	9
大正診療所	8
高知大学医学部附属病院	6
安芸病院	5
窪川病院	5
松本医院	4
竹本病院	4
田野病院	4
高知医療センター	3
渭南病院	3
ファミリークリニック四万十	2
四万十クリニック	2
杉の川診療所	2
前田病院	2
大西病院	2
嶺北中央病院	2
海部病院	1
吉井病院	1
芸陽病院	1
高須病院附属安芸診療所	1
高北病院	1
四万十市民病院	1
小松診療所	1
松本病院	1
森沢病院	1
足摺病院	1
大月病院	1
中村クリニック	1
島田医院	1
北島病院	1
幡多病院	1
徳島県立中央病院	1
搬送人数合計	215



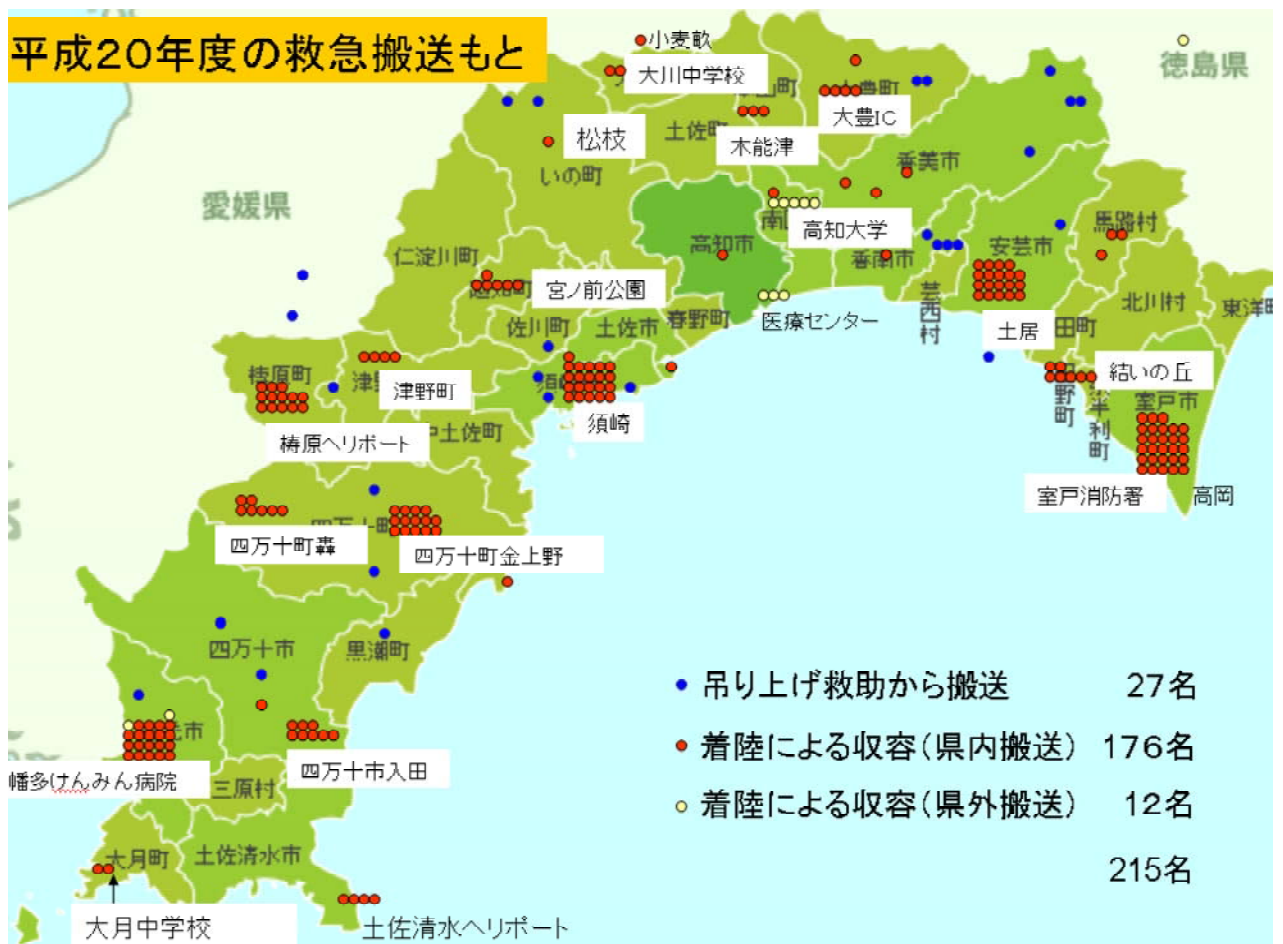
搬送先	搬送人数
高知医療センター	179
近森病院	6
岡山大学附属病院	4
高知大学医学部附属病院	4
国立高知病院	3
幡多けんみん病院	3
安芸病院	2
窪川病院	2
高知赤十字病院	2
愛媛大学附属病院	1
香川県立中央病院	1
川崎医科大学附属病院	1
大阪循環器センター	1
大阪大学医学部附属病院	1
徳島赤十字病院	1
奈良県立医科大学附属病院	1
兵庫医科大学附属病院	1
兵庫県立こども病院	1
名古屋大学医学部附属病院	1
搬送人数合計	215



(5) おもな離着陸場所までの所要時間



(6) 離着陸場別の搬送人数



離着陸場ごとの搬送要因別人数

着陸地	形態	搬送人数	一般負傷	急病	交通	自損	水難	転院	労災
救助から(吊り上げ収容)		27	9	4	7		2		5
室戸消防署	常用	28	1	1	1	1		23	1
須崎離着陸場	常用	21	5	2	4			10	
幡多けんみん病院	常用	21						21	
安芸市土居	常用	19	2	7	2			8	
四万十町金上野	常用	14	2		1			11	
禰原ヘリポート	常用	13	1					12	
四万十市水防離着陸場	常用	8						8	
安田町結いの丘	常用	7	1		1			4	1
四万十町轟公園	常用	7						7	
越知町宮ノ前公園	常用	6		1	1			3	1
高知大学医学部附属病院	常用	6						6	
大豊町IC	常用	4	1		3				
津野町白石	常用	4			1			2	1
土佐清水ヘリポート	常用	4						4	
高知医療センター	常用	3						3	
本山町木能津	常用	3	1					2	
大月中学校	常用	2					1	1	
大川村中学校	常用	2		1				1	
馬路村中学校グラウンド	常用	2	1	1					
いの町松枝離着陸場	常用	1			1				
海部町	常用	1						1	
大川村小麦畝	常用	1							1
徳島空港	常用	1						1	
興津	応急	1	1						
香南市徳王子	応急	1							1
香美市	応急	1						1	
香美市山田河川敷	応急	1			1				
高知市正蓮寺	応急	1	1						
四万十川河川敷	応急	1					1		
大豊町豊永水田	応急	1	1						
土佐市竜の浜	応急	1	1						
馬路村平瀬	応急	1		1					
繁藤 空地	応急	1	1						
搬送人数		215	29	18	23	1	4	129	11

※形態：離着陸場所として日頃から高知県消防防災航空隊と消防機関等に共通の認識がある場合を「常用」とし、現場に出動後に高知県消防防災航空隊判断により着陸した場合を「応急」とした。興津は今後「常用」可能な状態

(7) 勤務時間外の離陸による搬送状況



内容	転院形態	離陸時刻	搬送人数	夜間飛行	着陸地(收容場所)	搬送もと	搬送先
急病		17:31	1		安芸市土居	現場	高知医療センター
交通		17:35	1			現場	
交通		17:49	1			現場	
交通		18:13	1	0:20	安田町結いの丘	現場	
一般負傷		17:50	1		興津	現場	
交通		7:35	1		香美市山田	現場	
転院搬送	受診から	7:24	1		室戸消防署	松本医院	
急病		18:58	1		須崎離着陸場	現場	
転院搬送	入院から	17:50	1	0:25		くろしお病院	
転院搬送	入院から	8:25	1			くろしお病院	
交通		20:55	1	0:20		現場	
転院搬送	受診から	18:41	1	0:50		窪川病院	
一般負傷		21:45	2	0:37		現場	
交通		17:49	2	0:13	大豊町IC	現場	
一般負傷		17:39	1	0:27	土佐市竜の浜	現場	
転院搬送	受診から	1:55	1	1:10	土佐清水ヘリポート	渭南病院	
転院搬送	受診から	19:18	1	1:04		渭南病院	高知赤十字病院
転院搬送	入院から	17:57	1	0:32	幡多けんみん病院	幡多けんみん病院	高知医療センター
転院搬送	入院から	18:35	1	0:47		幡多けんみん病院	高知大学医学部
転院搬送	受診から	18:02	1		梶原ヘリポート	梶原病院	高知医療センター
一般負傷		18:28	1	0:27		現場	

(8) 高知医療センターに関する救急活動

ア 高知医療センターへの搬送人数

内容/年度	17	18	19	20	合計
一般負傷	5	14	12	25	59
運動競技		1			1
加害			1		1
火災		1	3		4
急病	2	13	14	17	47
交通	2	6	17	23	50
自損				1	1
水難		6	2	2	10
転院搬送	71	145	92	100	419
入院から	-	46	31	34	
受診から	-	99	61	66	
労働災害	8	4	14	11	37
年度合計	88	190	155	179	629

イ 航空隊勤務時間（08：30～17：30）前後の離陸による搬送人数

離陸時刻	内容/年度	17	18	19	20	合計
始業前	交通				1	1
	転院搬送	1	6	5	3	15
終業後	一般負傷	2		1	5	8
	急病		2	3①	2	7①
	交通		2		6	8
	転院搬送	2③	10	5⑤	4②	21⑩

※数字は高知医療センターへの搬送人数、○数字は医療センター以外への搬送人数



高知医療センターの救急スタッフと航空隊は効果的な活動や安全確保のためにヘリからの降下訓練や救急搬送の検討会を実施している。

ウ 医師搬送

内容	件数	引き返し	機内待機	降下	着陸
医師搬送	68	1	1	17	49

※引き返しは出動中に「要請解除」となったもの

エ 医師が現場に降下して処置をするために同乗した救助(救急)出動

内容	機内待機	降下
その他		7
山岳	1	9
一般負傷		1

← 救急活動

件数	救助区分	場所	医師行動	救助人数	内容
1	山岳	四万十町	降下	1	山中の急峻な斜面で草刈り中の森林組合員が足の指を切断したもの
2	山岳	安芸市	機内待機	1	標高約600mの伐採現場でシシ蜂に刺され意識がなくなった男性の救助
3	山岳	津野町	降下	1	狭心症の既往症がある男性が山中で意識がなくなったもの
4	その他	香南市	降下	1	道路から谷川に転落した車両からの救助
5	その他	四万十市	降下	1	道路から河川に転落したライダーの救助
6	その他	香美市	降下	1	山腹でクマバチに刺された女性の救助
7	山岳	宿毛市	降下	1	山中でスズメバチに刺された女性
8	その他	香美市	降下	2	山間部の交通事故重傷者の救助
9	山岳	黒潮町	降下	1	標高180mの山中でチェーンソーにより足に切創を負い、熱中症の症状
10	山岳	四万十市	降下	1	山中で熱中になった男性の救助
11	山岳	香南市	降下	2	蜂刺傷の男性を救助中に複数の隊員も刺されたため医師を搬送
12	その他	大豊町	降下	2	河川に転落した車両から重傷者を救助
13	山岳	四万十町	降下	1	山林で伐採作業中の男性が草刈り機で太ももを切創。到着時にCPA、処置で回復
14	その他	愛媛県	降下	1	工事現場で鉄骨に挟まれた男性の救出
15	山岳	香美市	降下	1	CPA状態の負傷者の救助
16	山岳	須崎市	降下	1	林業現場で直径20cm程度の木が顔面に当たり、嘔吐した男性の救助
17	その他	佐川町	降下	1	農耕機の下敷きになった男性の救助
18	救急	大豊町	降下		耕耘機のローター刃が足に食い込んで負傷した女性の搬送 医師が降下して処置後に田んぼに着陸して収容

6 防災訓練等

防災訓練とは別に活動のための課題検討や能力向上のために関係機関の協力を得て実施する訓練を合同訓練としている。

	年月日	内容	実施場所	内容	関係機関等	飛行時間
1	7月 6日	防災訓練	禰原町	禰原町防災訓練	禰原町	1:20
2	7月13日		須崎市	須崎市防災訓練	高幡消防本部	0:45
3	8月22日		愛媛県西条市	四国4県航空隊合同訓練	愛媛県	1:40
4	9月 7日		津野町	津野町防災訓練	高幡消防本部	0:40
5			越知町	救急訓練	高吾北消防本部	1:10
6	10月22日		いの町大内	警防課程のヘリ実習	高知県消防学校	1:00
7	11月10日		高知沖	着艦訓練	海上保安庁	0:50
8	11月15日		津野町不入山	山岳救助	日本山岳協会 高知県教育委員会	0:51
9	11月20日		安芸市	林業事故訓練	安芸市消防本部	0:45
10	2月21日		南国市	四国DMT救急搬送訓練	高知県医療薬務課	0:40
11	6月23日	合同訓練	四万十市	連携救助訓練	幡多中央消防本部	1:55
12	8月30日		仁淀川河口	水難救助訓練	着衣泳研究会	1:00
13	8月31日					安芸市
14	11月11日		高知市鏡	救急引継ぎ訓練	高知市中消防署	0:40
飛行時間合計						15:41

(1) 海上保安庁巡視船への着艦訓練



水難(海難) 事故が発生した場合は高知保安部、高知県警察航空隊と常に連携をとって活動している。

(2) 着衣泳研究会と水難救助のための調査訓練



水害や津波を想定し多数の要救助者がいろいろな浮き具で洋上に漂う場合の救助訓練を洋上と河川で実施した。航空隊は救助方法についての検討と訓練、着衣泳研究会は浮き具と救助を待つ側についての検証を実施。写真はランドセルと発泡スチロールで洋上に浮いて救助を待つ研究会員

(3) 住民の力で設置した離着陸場での救急訓練



越知町野老山（ところやま）に住民が設置した離着陸場（20年度末に舗装済み）災害時に孤立のおそれがある地区に設置された離着陸場で救急搬送訓練を実施

(4) 登山者や林業従事者の事故対応訓練



救助事案発生時の対応や救急知識等についての講義や実地訓練の展示を登山関係団体や林業関係者を実施

7 一般行政

行政に必要な調査や写真撮影の他、貴重な高山植物を鹿の食害から守るための防護柵を設置場所に搬送



三嶺山系の石立山・天狗塚に防護柵設置資材を搬送